

# ダイヤルプランで、ネットワーク内のコールルーティング用のマスター/ディレクトリゲートキーパーとして VCS を使用しています。この VCS にはどのような種類のコールライセンスが必要ですか。

## 目次

### [概要](#)

[ダイヤルプランで、ネットワーク内のコールルーティング用のマスター/ディレクトリゲートキーパーとして VCS を使用しています。この VCS にはどのような種類のコールライセンスが必要ですか。](#)

### [関連情報](#)

## 概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway に関連しています。

**Q. ダイヤルプランで、ネットワーク内のコールルーティング用のマスター/ディレクトリゲートキーパーとして VCS を使用しています。この VCS にはどのような種類のコールライセンスが必要ですか。**

A. シスコが推奨する導入は、ディレクトリ VCS をファイアウォールの内側にある VCS Control とし、ファイアウォールの外部のトラバーサルサーバに接続することです。この設定では、ディレクトリ VCS にはエンドポイントが登録されず、ネットワーク内の他のすべてのシステムがゾーンを介してネットワークに接続されます。

さまざまなゾーンにある内部ネットワークのエンドポイント間のコールはすべて、ディレクトリ VCS Control を通過します。このようなコールは、コールの特性に応じて非トラバーサル (ローカル) コールライセンスまたはトラバーサル コールライセンスを使用できます。

ファイアウォールの外部のローカル ネットワーク間のコールはすべてディレクトリ VCS Control を通過するため、これらは常にトラバーサル コールライセンスを使用します。

VCS Control には 100 件のトラバーサル コールおよび 10 件の市内通話が付いてきますので、ネットワークのコール量に応じて、追加のライセンスの購入が必要な場合があります。詳細については、TANDBERG 担当者にお問い合わせください。

トラバーサル コールと非トラバーサル コールの詳細については、『VCS 管理者ガイド』の「トラバーサル サブゾーン」セクションを参照してください。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)